



## 新年にあたって

理事長 松崎 和敬

明けましておめでとうございます。

新年にあたり昨年の活動について振り返ってみたいと思いますが、その中で新たに加わった主なものを挙げてみますと次のとおりになります。

- 1/8 森林業機械化協会と森林総合研究所が行う機械による苗木の植付のための実験圃場の候補地として湯ノ岳栗園跡地の現地調査。その後、湯ノ岳生産森林組合の了解を得て、整備実施後、3/4～3/5 機械による植え付け作業の支援を行う。
- 1/16 新舞子海岸のなかで子供達にも参加可能な海岸林整備場所について磐城森林管理署と協議し、1/22 現地調査の上選定してもらう。
- 1/18 プロ野球の森の整備作業に着手。  
(子供達に安心して参加してもらうためには、放射線量の問題があったので、これを解決するための対策実施)
- 1/22～23 筑波大学チームが行う森林の放射能除染プロジェクト事業支援のため、現地調査および打合せ実施。
- 2/11 ふくしま子供支援プロジェクトの打合せ→3/8 県内の自然学校等 8 団体による子供が自然と遊ぶ楽校ネットを立上げる。
- 4/13 小径木のスギの間伐材を利用した壁材の活用法の一つとして倉庫を作り、森の工房脇に展示。
- 4/17 福島県オフセット・クレジット植樹祭の実施候補地として栗園跡地を福島県担当者と下見→6/30 植樹祭実施 (210 本)
- 6/8～9 湯ノ岳生産森林組合所有林の間伐施業の実施状況を視察する。  
(組合 2 名、事業者 1 名、本会 1 名)
- 5/30 「野生動物が森林環境に及ぼす影響」について筑波大学研究員による勉強会実施。
- 6/15 21 世紀の森公園復興フェスティバルにいわき竹プロジェクトと一緒に参加、木工、竹細工を担当 (参加者 300 名)



湯ノ岳山荘にトトリの森の主演登場



木エクラフト班の作品です

- 6/19～20 田人地区の環境資源を活かすための方法等について勉強会を開催、指導講師前 NACS-J 事務局長 開発先生。第2回を12/4～5実施。
- 8/19 いわき建設事務所担当者と海岸の防災緑地の整備について打ち合わせ。  
(26年以降作業開始予定)
- 10/9～10 子供が自然と遊ぶ楽校ネット主催のリーダー研修会を湯ノ岳山荘で実施。  
本会も参加。
- 11/11～12 放射線医学研究所上席研究員による研修会(河川環境と川の魚に対する放射能の影響等について)をいわき地域環境科学会の先生達と開催。
- 11/27 国土緑化推進機構主催のいわき市での事業支援(被災地への苗木プレゼントと植付け)  
11/27 永崎小学校。12/27 中央台みんぷく。
- 12/21～22 小学生を対象とした1泊2日の冬の里山遊び体験を本会が担当して湯ノ岳山荘で実施。
- 以上、多くの事業に取り組み本会の活動の幅を広げるのに役立つことができました。

昨年の野外での活動状況を湯ノ岳山荘の利用状況から見ますと放射線量が低減したこともあって、小学校が授業として利用するケースは別にして、多くの市民は夏休み以降は震災前の状況に戻ったように思われます。

12/21～22の活動に参加した子供達は皆んな大変活発でスタッフ一同多くの元気をもらいました。

また、昨年からスタートした湯ノ岳生産森林組合所有林の間伐等の整備作業については、計画通り進捗しました。

○本会設立が2001年10月、NPO認証が2004年6月、ろうきん森の学校のスタートが2005年9月ですので、今年はNPO認証後満10年、ろうきん森の学校スタートから10年目を迎えます。

ろうきん森の学校については当初10年間の事業でスタートしましたが、11年目以降も継続できる状況になってきましたので、今年、いままでの本会の活動を振り返りながら、2015年以降どうすべきかを考える大事な年となりました。

とくに、会創立以来12年経過していくなかで、会員の年齢構成が高齢化してきておりますので、その辺のことを踏まえながら考えていく必要があると思いますので、これから皆んなで検討を重ねて行きたいと思っております。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに、それぞれが健康に留意しながら活動して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

目次		P
新年にあたって	-----	1
森林整備班活動	-----	3
プロ野球の森整備状況	-----	3
第10回		
山火事跡地の森林再生整備事業	-----	4
海岸線の再生整備について	-----	4
農作業		
2013年秋の活動報告	-----	5
木工クラフト班の活動	-----	5
キノコ栽培	-----	6
プログラム勉強会		
グループ活動	-----	7
ろうきん友の会自然体験活動	-----	9
冬の里山遊び体験キャンプ	-----	9
ろうきん森の学校	-----	10
平成25年度うつくしま		
21森づくり活動発表交流会	-----	11
滝富士観察会(もり案いわき支部)	-----	11
森林ボランティアリーダー育成講座	-----	12

## 森林整備班の活動

桑原敏和

今回の整備班の特徴は、台風の被害による屋根修繕（薪小屋・石窯）と山火事跡地森林再生整備事業を主に活動してきました。

森林整備班の主な活動については、下記表の通りです。

### 定例整備活動一覧表 (H25.10.23～H26.1.18)

月/日	曜	実施事項	名
10/23	水	薪小屋屋根修繕	6
11/2	土	駐車場の草刈	4
11/16	土	山火事跡地歩道の草刈・整備	4
11/27	水	山火事跡地歩道の草刈・整備	5
11/28	水	山火事跡地歩道の草刈・整備	5
12/3	火	山火事跡地補植地ごしらい・整備	2
12/4	水	山火事跡地歩道の草刈・整備	5
12/18	水	森林整備の落葉処理	4
12/25	水	ビニールハウスの床・排水路整備	5
12/28	土	炭窯・石窯・燻製窯廻りの整備	3
1/4	土	観察コース内整備対象選木	2
1/8	水	石窯屋根修繕（支線取付）	4
1/15	水	ビニールハウス補強・クラフト材	7
1/18	土	伐採木の玉切作業	3



薪小屋の屋根は 10/26 台風 26 号（伊豆大島に甚大な被害をもたらした、ここ 10 年で最大の台風）で吹き飛ばされた。被害を受けた薪小屋の屋根を修繕する。



山火事跡地の森林再生整備事業の事前準備作業で歩道の草刈を実施した。

## プロ野球の森整備状況

佐藤行年

現在、全体の 2 / 3 の林内低樹木の除伐が（竹林を除く）終わりました。

除伐した主な樹木は、アオキ、ネジキ、ネズミモチ、ヤマウルシ、アカメガシワ、杉等です。道路から尾根まで標高差 高いところで約 80 ㍎ 低いところで約 50 ㍎ありますが、道路から尾根を歩く人が見える、尾根から砂利駐車場やグリーンスタジアムがかなり見えるようになりました。

今は低樹木の除伐ですが 終わった時点で再度どんな森にしたいのかを議論しながら残す木、いらない木をみんなで選木し しっかりした方向性を出して行きたいと思います いろんな意見、見方があると思います。

ここプロ野球の森は一般市民、スポーツ少年たちが安全で気楽に楽しめる場所するために整備しています。是非みなさんもプロ野球の森へ足を運んでいただいて、良きアドバイスをいただけたらと思います また山の整備をしてみたい方、是非協力していただけたらと思います。



手入れをしているところ



手入れをした後

11 月～12 月整備作業は、整備の日を毎週木・金曜日として、作業時間は午前中とした、実績は次の通りです。

11 月：除伐作業 8 日間：延 28 名

12 月：除伐作業 5 日間：延 18 名

## 第 10 回

# 山火事跡地の森林再生整備事業

本会では、21 世紀の森に山火事により藪化した里山を再生整備し市民が気軽に訪れ、四季折々の自然を楽しめるよう整備してまいりました。今回で 10 回目を迎え下記により実施致しました。

1.実施日 平成 25 年 12 月 7 日 (土)

2.参加者 65 名

<内訳>

ボーイスカウトいわき 11 名

いわき竹プロジェクト 3 名

岩出里山クラブ 5 名 磐城森林共同組合 2 名

一般参加 10 名 本会より 34 名

3.実施事項

(1)育樹作業 (これまで植樹した下草刈を実施してきた箇所の下草刈等)

(2)補植 (これまで植樹したイロハモミジ区域に 30 本)

(3)自然観察会 (育樹、補植会場までの移動途中約 1km 区間)

4.事前準備

参加者の安全確保と補植箇所の地拵え等の整備を事前に実施しました。

11/16 (土) 11/20 (水) 11/27 (水) 11/28 (木) 12/3 (火) 12/4 (水) 延べ 6 日間 26 名他にプロによる機械作業実施。



イロハモミジ補植作業



自然観察会自分達が植樹した案内版の前で

## 海岸林の再生整備について 松崎和敬

### 1.いわき海岸林の被害状況

(1) 国有林 (25/9 現在)

いわき海岸 26.8ha、勿来海岸 21.1ha 計 47.9ha

23/5 林野庁発表によると被害の深刻な面積は 1.4ha であったが、地盤沈下等による地下水位が高くなったことによる根腐れ、津波被害の塩害等により枯損木が年々増加した結果、上記のようになっているが、今後さらに増えていく可能性が高いものと思われる。

(2) 民有林 (25/3 現在)

津波で直接被災したところ 約 15ha

### 2.海岸林整備参加者

NPO 法人トチギ環境未来基地 (本会の団体会員) が行っている「苗木 for いわき」プロジェクトを本会が、いわき青年林業会議所 (本会の団体会員) の協力を得ながら、支援する形で実施している。



栃木県のボランティアの方々 (植樹前の整備)

2012 年 6 月から 2013 年 12 月までの参加者数はつぎのとおり

	本会 (含トチギ)	ボランティア (含小学生)	その他	計
2012/ 6~12	61	144	7	212
20013/ 1~12	229	981	17	1,227
計	290	1,125	24	1,439

\* ボランティア 1,125 名のうちの大半は栃木県、東京などのメンバーで、いわき市は藤間中学校の 244 名を含めて 300 名弱である。

### 3.今後の取組み

- (1) 「苗木 for いわき」プロジェクトを継続する。
- (2) うつくしま 21 森林づくりネットワークが実施する海岸防災林再生事業 (1/25~26) へ参加する
- (3) いわき建設事務所が実施している海岸部の防災緑地事業 (いわき市内 7ヶ所、42.9ha) への協力。

# 農作業 2013 年秋の活動報告

農作業班 太田

## 1. 収穫作業等

◎さつま芋、大根、大カブなどの収穫をおこないました、

①さつま芋：9月23日、10月7日、21日。

②ダイコン：11月4日、11日など。

③サトイモ：11月9日、11日。

④落花生：10月28日。

⑤大カブ：11月25日、12月2日など。

⑥大豆：11月18日

⑦ネギ：11月11日など。



10月21日、3回目のさつま芋収穫です

◎12月9日、ソラマメ苗定植しました。  
(3列・70株)

2. 粃殻運搬作業：11月25日、12月2日、12月9日、14日。4回にわたり、軽トラで粃殻を畑に運搬しました。

延べ軽トラ12台分で、畑の土壌改良のため主に畑土にいきます。(12月以降)



12月2日、粃殻を畑に入れる

3. イノシシが畑に侵入！：11月の初め、突如イノシシが畑に侵入。畑やあぜ道の土を掘り起こしたが、作物には、特に被害はありませんでした。その後、市に委託された駆除業者2名で畑の周りに罠を仕掛ける。(捕獲6頭ほど?)

## 4. その他

①農道の補修と除草作業、10月12日。

②収穫し大カブで、千枚漬けを作る(加藤さん)

③地主さんへ収穫野菜をとどける。

(サツマ芋5kgなど。10/11、12/14)

# 木工クラフト班の活動

桑原敏和

年末用品を主に活動してきました。リース・門松共出来栄は◎でした。

## 木工クラフト班活動一覧表 (10月～12月)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	10/15	火	特大熊さん人形組立	10 (2)
2	10/20	日	畑看板、蛙のカスタネット、本立て(2連式)	3 (3)
3	11/5	火	特大熊さん人形(組立・塗装)、門松用コモ作り	10 (2)
4	11/17	日	リース作成	3 (2)
5	11/19	火	おぼん(板を帯鋸で切断鉋掛け)、門松用コモ作り	10 (2)
6	12/3	火	リース作り	11 (3)
7	12/15	日	門松作り	6 (3)
8	12/17	火	門松作り	10 (2)
計			参加者 指導員	63 (19)

参加人数覧 () 内数は指導者人数



自慢のリースを持って記念写真



穏やかで幸せな新年を願い作り上げた門松

## キノコ栽培

荒川、佐藤（幸）

### 1.パイプハウス栽培

今年もパイプハウス内でマイタケ、ハタケシメジ、ナメコ、ヒラタケの菌床栽培を行った。（マイタケのみ熟成原木）

発生状況としては、ナメコが例年より半月程早く発生した。これは、9月下旬から10月上旬に、急に気温の低下があったことが原因と思われる。

ハタケシメジについては、今年の天候がキノコの秋が非常に短かったためか、例年より不作であった。



ナメコ

産地別原木による、放射線量に差があるのかテストするため、下表の通り岩手県産原木と湯ノ岳産原木にシイタケ菌を植菌して放射線量の差が出るのか調査してみる。

産地別原木（コナラ）のシイタケ菌植菌内容

原木 産地	原木寸法 直径・長さ	本数	植菌 コマ数	植菌 年/月
	(mm)			
湯ノ岳	10-90	30	1200	2013/2
	(mm)			
岩手県	10-90	20	800	2013/2

発生予想 年/月 2014/10~2015/4 頃の見込み



ハタケシメジ

### 2 パイプハウス内の収穫数量

項目	マイ タケ	ハタケ シメジ	ナメコ	ヒラ タケ	計
発生日	9/27	9/25	9/28	10/25	—
収穫 期間	10/2 10/23	10/4 11/2	10/2 12/27	10/29 12/25	—
収穫量 Kg	21.7	10.9	38.1	32.5	103.2



マイタケ

### 放射能濃度測定結果

項目	Cs-134 (Bq/kg Fw)	Cs-137 (Bq/kg Fw)	計
シイタケ (杉林内)			
2012/4	185	232	417
2013/11	88	277	267
コナラ原木			
2012/12	173	277	450

### 森林整備班戦力アップのお知らせ

これまで、鉋・手鋸・大鎌で森林整備に汗を流しておりました横田武雄・吉田英治さんは、昨年12月に「刈払機作業安全衛生教育・チェーンソー等業務特別教育」を終了しましたのでお知らせ致します。

今後は「怪我せず、怪我させず」「安全第一」で森林整備作業を楽しんでください。

### 3.産地別原木にシイタケ菌の植菌

原木栽培のシイタケは、福島原発事故に伴い収穫を中止している。

## プログラム勉強会グループ活動

宍戸信夫、若森秀樹

### ◎自然体験学習の支援活動

プログラム勉強会グループの活動は安全に楽しく、無理しないを原則としております。

10月～12月は五感で感じる自然体験活動として小学校の支援活動は下表の通りです。

#### いわき市立小学校学習支援活動(10月～12月)

月/日	学校名	年生	学習	参加者	支援
10/10	勿来3小	5	理科	22	8
10/24	錦東小	1	生活科	25	10
10/29	中央台北	4	総合	56	8
10/31	錦東小	1	生活	26	8
11/6	錦東小	1	生活	26	
〃	幼稚園	全	交流	77	10
11/10	田人2小	全	発表会	300	4
11/12	江名小	1	生活科	13	6
11/13	綴小	1～4	森の学校	23	3
11/13	上遠野小	3	総合	33	6
11/15	田人2小	全	総合	8	6
11/18	江名小	2	生活	19	6
11/19	錦東小	3	総合	28	4
11/20	江名小	1	生活	28	6
11/21	上遠野小	3	総合	33	6
11/22	江名小	1～2	生活	34	6
11/27	中央台北	4	理科	57	6
11/29	江名小	3	図工科	20	5
12/3	田人2小	全	発表会	20	3
12/12	上遠野小	4	総合	35	7
19回	—	—	—	883	118

自然体験学習は楽しいこと、面白いこと、何故と言う疑問や不思議を再発見し感動を分かち合える私たち大人が傍にいることは必要であり大切なこととおもいます。

子供たちとの活動を通して楽しく、元気なエネルギーに触れることができますので興味のある方は体験活動への参加をお待ちしております。

### ◎自然体験学習の支援活動の一部を紹介します

自然体験学習支援 錦東小学校

実施 平成25年10月24日(木)

錦東小学校1年生の生活科学習「秋の宝ものは何か?、宝もので何ができるか」について支援しました。

まず、秋の宝ものをさがすことから始めました。

実施内容は、近くのドンダリのある植え込みや、クロマツのある広場まで、宝ものを探して歩きました。



地面にはカシ・シイのドンダリ等多くの木の実が驚くほど発見されました。又、カマキリなどの昆虫、林床には秋のキノコを観察することができました



#### 集めた木の実等の宝物がいっぱいです

今回は、集めた宝ものでおもちゃを作ります、どんなおもちゃが出来るか楽しみです。そして、錦幼稚園児を招待し、一緒におもちゃを作って遊ぶ予定です。

### ◎いわき明星大学支援活動

いわき明星大学科学技術部(環境教育自然体験プログラム)の集中講座は11月にいわきの地形と地質、植生、水環境など学校林を中心に行い、自然観察のプログラム等作成しました。

支援内容: 学校林整備・調査、学生リーダー養成、環境教育自然体験学習集中講座等に参加・支援者数を記載します。

10月、「記載例: 月/日、参加者数(支援者数)」

10/ 2、5 (5) 10/5、12 (7) 10/11、4 (2)

10/12、11 (7) 10/18、4 (4)

延参加者人数: 36名、支援者人数: 25名

11月、「記載例: 月/日、参加者数(支援者数)」

11/2、41 (10) 11/5、42 (10) 11/9、43 (9)

11/16、37 (7)

延参加者人数: 163名、支援者人数: 36名

**いわき明星大学自然体験学習スナップ**



自然観察会プログラム作成（テーマ探し）



自然観察会実践テーマ決定とプログラム作り

12月、「記載例：月/日、参加者数（支援者数）」  
 12/6、3（3） 12/13、4（3） 12/20、3（3）  
 延参加者人数：9名、支援者人数：9名

**◎筑波大大学院支援活動**

生命科環境科学研究科・湯の岳 森林土壌調査

月日	実施内容	参加者	支援者
10/20～21	森林土壌調査	1	1
11/23～24	森林土壌研修	19	3
11/27	森林土壌調査	1	1
12/3～4	森林土壌集中講座	3	2
12/6	植生調査	2	1

**◎国土緑化推進機構「森の教室」及び「苗木プレゼント」支援**

月/日	箇所	参加	支援
10/15	福島市西部三育幼稚園	215	4
10/17	福島市愛隣幼稚園	146	4
11/28	いわき市永崎小学校5年生	40	8
12/6	いわき市永崎小学校5年生	6	3
12/27	いわき市中央台みんぶく	10	3

**◎地域の環境資源を活かす会の支援**

田人環境資源を活かす会の支援活動については、田人地区を2ブロック各3コース計6コースに分けて元自然保護協会事務局長の開発先生の指導を頂きながらプログラムの作成、地図へのマッピング等纏めの段階にはいりました。

月/日	支援内容	地域の方	支援
10/3	環境資源の調等	13	2
11/14	〃	13	2
12/4	〃	10	2
12/5	〃	8	2
12/19	〃	10	2

**田人地域の環境資源を活かす勉強会**



地図へのマッピング作業とミーティング

定例のプログラム勉強会は、毎週木曜日に湯ノ岳山荘で開催しております。

私達自身も楽しむ事を忘れずに活動していきたいと思っておりますので気楽に参加ください。

**◎各種団体・研修会支援**

10/30 労金友の会平支店（名参加者 27名）  
 もりの学校、秋の自然体験学習  
 （支援者 10名）

11/30 いわき地区連合（参加者 27名）  
 もりの学校、秋の自然体験・研修会  
 （支援者 4名）

12/14 こどもが自然と遊ぶ楽校ネット  
 日帰りプログラム（参加者 14名）  
 （支援者 3名）

12/21～22  
 こどもが自然と遊ぶ楽校ネット  
 冬の里山体験キャンプ（参加者 18名）  
 （支援者 12/21.9名、12/22.12名）



## ◎各種団体・研修会支援主なもの

### ろうきん友の会自然体験活動

労働金庫平支店の友の会々員と関係者の方々が、湯の岳山荘に来荘、秋の一日を楽しみました。

- 1.実施月日 平成25年10月30日(水)
- 2.実施内容 ①秋の里山散歩 ②花炭作り体験  
③木工クラフト

3.参加者27名(支援者10名)

①秋の里山散歩:秋の木々の実を観察、水の循環と、森・河・海のつながりについてセルフガイドで学び秋の里山を散策した。

②花炭作り体験:里山散歩で採集した植物をブリキ缶に詰め釜戸で宇薬1時間焼いた、今回は大変素晴らしい出来栄でした。

③木工クラフト:花瓶台作りに挑戦、焼き磨きで仕上げ、自作と思えない作品に大変喜んでおりました。



作品を手に記念写真撮影

### 冬の里山遊び体験キャンプ

若森秀樹

「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」(記載・

会報 No6-P12)の取り組みですが運営は本会が主催となり実施しました。

- 1.実施 平成25年12月21日(土)～22日(日)
- 2.場所 湯ノ岳山荘フィールド
- 3.参加者 18名

県内の小学生18名(男子10名、女子8名)(支援者12/21.9名、12/22.12名)

#### 4.第1日目の実施項目(12月21日)

山荘の観察コースを歩き、自然観察や森の手入れ体験、楽しいゲームなど、野外体験が主に行われました。自然観察・(イモムシゲームや目隠手で触れての観察?メダマツゲーム等取り入れ森を楽しむ)



森の手入れを体験(広葉樹林の除伐)

山荘では竹筒でご飯を炊く準備や焚火を体験しました。

#### 5.第2日目の実施事項(12月22日)

二日目は、石窯料理の準備、子供たちに大人気の木工クラフトがメインに行われました。昼食は石窯の前の陽だまりでピザ・焼き芋等食べました。



木工クラフトは、リュールシロホンやカスタネットを作りました。後で作った楽器で音楽の練習を楽しみました。



湯ノ岳山荘をバックに

全員で記念撮影。参加者は自分の意思で参加されたこともあり積極的な行動が数多く見られた。参加者は自然の中で充分に楽しんだと思われる目的は達せられたと思います。

## ろうきん森の学校 (平成 25 年 10 月～12 月)

若森秀樹

### 1. 平成 25 年 10 月 20 日 (日) (雨)

(1) 実施内容

①然観察会” 秋を感じる里山の散歩”

②キノコの勉強会③野外料理体験

(2) 参加者 14 名

(3) 実施結果

①②キノコの勉強会と自然観察会を兼ねて、観察コース (1) と (2) を周りました。

キノコを求めて林の中。なぜか今回は殆どキノコが見つからず、かなりくたびれたものが僅かにある程度でした。

採集したキノコは栽培を除くと 11 種。



キノコ同定結果

ヌメリガサ科仲間、フウセンダケの仲間、シロハツ、クサハツ?、クヌギダケ? テシオハツ?。食可：ハツタケ、アカハツタケ。

有毒：ニガクリタケ、テングダケの仲間。不明 1 種。

観察コースは、草花も殆ど終わりに近いようで、却って木の実、草の実が目立ちました。

花では、ノコンギクもソロソロ見納めです。ツワブキは今が盛りでした。

③野外料理体験ソバ粉のオヤキ

サンマ鍋キノコにサンマのダシが出て大変に美味。

### 2. 平成 25 年 11 月 17 日 (日) (晴)

(1) 実施内容

①然観察会” 初冬を感じる里山の散歩”

②森林療法体験 ③野外料理体験

(2) 参加者 18 名

(3) 実施結果

自然観察会を行いながら森林療法フィールドにおいて森林療法体験を実施しました。

深い落葉を踏んでの散策 (自然観察) は、落葉の音が心地よく感じられ癒しの効果があるのではと思えました。

野外料理はキノコご飯、キノコ汁の他お好み焼きと野菜サラダとしました。お好み焼きは参加者に焼いてもらいました。



参加者が自分の好みに焼いていただきました

### 3. 平成 25 年 12 月 15 日 (日) (快晴)

(1) 実施内容

①然観察会” 冬の里山散歩”

②ソバ打ち体験 ③野外料理体験

(2) 参加者 52 名 (人気のソバ打ちに加え、ボーイスカウト第 10 団 (計 22 名) が加わり、賑やかな森の学校になりました。

(3) 実施結果

①自然観察会 三班に別れて、観察コース (1) と (2) を周りました。

(1. 可愛い年少のお子さん班 2. 大きいお兄さんの班 3. 大人だけの班) 観察コースは落葉がフカフカで気持ち良く散策できました。

**観察出来た樹木及び草の果実**

ムラサキシキブ、ヒヨドリジョウゴ、マユミ、ニシキギ、ウメモドキ、ピラカンサ、ヤブコウジ、アオキ、ツゲ、ガマズミ。チゴユリ、マムシグサ。

**花**：ツルグミ、サザンカ。

②ソバ打ち体験



最初からていねいに個別指導。

③野外料理体験は、できたてのおそばを初め、たくさんのご馳走を頂きました。

平成 25 年度

## うつくしま 21 森林づくり

### 活動発表交流会

1. 日時 平成 25 年 11 月 3 日 (日)  
10:00~15:00
2. 場所 ふくしま県民の森  
フォレストパークあだたら  
本会より松崎理事長より「津波被災海岸林再生整備の取組み」について発表しました。



発表する松崎理事長

主な発表内容は。

海岸林の歴史と東日本大震災の津波を受け止め防災林として役割を十分に果たしたことをお知らせ致しました。

だが、震災による地盤沈下による地下水位の上昇と塩害による松枯れは甚大な被害を受けている現状を伝えた。

そして、本会の海岸林再生の取組みについてと今後の課題等について発表しました。



発表会場

最後に、今後の取組みとして海岸林再生植樹について、平成 26 年 1 月 25 日 (土) ~26 日 (日) に実施される海岸防災林再生事業への参加協力依頼をしまいにしました。

福島県もりの案内人の会いわき支部より観察会の投稿がありましたので掲載いたします。

### 滝富士観察会記録

佐々木 志津男

1. 地域名：遠野町滝（滝富士山 306.3m）  
（鮫川河口から 10 ㎞陸に入った阿武隈高地東端）
2. 実施日：2013(H25)11.10.(日) 曇 18℃
3. 目的：スキルアップ
4. 参加者：古川真智子、大内政義、津崎順、深瀬元靖、佐々木
5. 道程（観察会行動 6 時間）  
滝富士登山口駐車場---滝富士山頂---芦の草登山口---滝富士登山口駐車場
6. 寸記：

いわき市遠野町滝富士(標高 306. m)を歩。滝登山口からスタート。県道の標識から入山。泥濘の鬱蒼とした路は、右からの道を合す辺から植生が変わり明るくなる。路は。

湿地や小さい流れや溜りをみて山間の路に入る。

パツァと明るくなる落葉林は気持ちがいい。こうも変わるものかといつも思う。右は沢に落ち、左は山が切崩された路。斜面に多くの伐採木が放置。搬出には多大な労力が必要だ。

植生に詳しい古川さん、大内さんのいろいろ織り交ぜながらの解説で楽しく理解出来た。常緑、落葉、混交そして沢と尾根の植生違いがはっきりしている場所。

尾根は西から南に変わり直登すると山頂だ。まだ小さい杉木の斜面は風通しがいい。が、風で根こそぎ倒れている。風向で強さの違いが解る。草繁る山頂は三角点と標識、そして東に植田市街と常磐火力の煙突と海岸が見える。また南尾根からは、西にピラミダルな明神山(旅人)がピョコンと見える。

復路は芦の草口へ下りる。ダム湖から県道へ繋ぐ舗装路もよいフィールドだ。今回の観察会は「花のない」晩秋の楽しい観察会でした。



芦の草登山口での観察風景

## 森林ボランティアリーダー

### 育成講座を受講

本会より4名の方々が「森林ボランティアリーダー育成講座」を受講されましたのでお知らせします。

講座目的は、県民参加による森林づくり運動の促進を図るため、森林整備に関する知識と技術・森林整備の安全確保に関する知識を備えた森林整備ボランティアの核となる人材「森林ボランティアリーダー」を育成する講座です。

### 講座内容

#### 1. 日程と講座内容

平成25年10月12日(金)～11月14日(木)

8講座 延べ6日間

#### 2. 会 場 ふくしま県民の森

福島県林業研究センター

#### 3. 受講者(4名)

栗田みなみ、松本 學、横田武雄、吉田英治、

#### 4. 講座内容(○は講座番号)

1日目: ①救急救命に関する知識の習得

2日目～4日目

②刈払機取扱作業安全衛生教育

③④チェーンソー作業従事者特別講習

(教育・特別講習修了者は受講を免除)

5日目: ⑤人工林施業(講義)

⑥天然林、里山林施業(講義)

6日目: ⑦人工林施業実技(間伐)

⑧天然林、里山林施業実技

受講者4名の方々は受講終了してまいりました。

この講座は森林整備活動で、森林の重要性、技術などを広く県民に伝えるボランティアによる指導者「福島県グリーンフォレスター」認定への要件となっています。

講座終了後、チェーンソーや刈払機等機械を使った森林整備作業の指導日数が5日以上あることが認定資格要件となっておりますので今後の活動に

期待しております。

参考まで、本会会員で「福島県グリーンフォレスター」に16名が認定されております。

### 仮設ビニールハウスのお知らせ 武田征也

駐車場の隅に仮設ビニールハウスを設置しましたのでお知らせ致します。

ハウスのサイズは、幅5m・長さ8mです。  
ハウスの利用希望班(人)は申し込んでください。



ビニールハウス

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

正月になりますと「お正月には凧あげてコマを回して遊びましょ」と言う歌があります。今では見られない風景です。

残念ながら今は外で遊ぶ子供が居りません。まして、羽根つきをする人は皆無です。

私には羽根つきについて、懐かしい思い出があります。

それは、羽根つきの玉にするムクロジの黒い実があります。この実を探すため他の村まで出かけた事や、羽を揃えるため鶏小屋に入り雄鶏が怖かった事など今では懐かしい思い出です。

新年を迎えもう一度羽根つきや凧揚げ等で遊んでみたいと思いました。

先ずいわき市内にムクロジ木が有るのか所在が分かりません、教えて下さい。それから始めたいと思います。

伊藤

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: http://iwaki-mori.jimdo.com/